

社会福祉分野の成功事例として MDT アプローチが表彰受賞

4月7-8日
「Exhibition for Innovation on social Welfare 2011」というワークショップ／表彰式が開催されました。社会福祉分野での成功事例を紹介し、表彰するという趣旨で、うれしいことに MDT アプローチも成功事例のひとつとして表彰されました。



ブなど、様々な機会を通じて頻繁に会うことでネットワークの強化が図られているとして、プロジェクトの重要性を示唆されました。

当プロジェクトの活動も3年目に入り、タイ国内では

MDT アプローチの重要性が一層認識され、JICA と共同でその強化に取り組んでいることが広く知られるようになってきました。今回の表彰は、今後のプロジェクト活動をさらに活発化させていく弾みになると思います。

ワークショップ主催者である National Institute of Development Administration (NIDA)は、写真のような MDT とプロジェクト内容を紹介する巨大パネルを作成し、会場に展示されました。日本政府とタイ政府共同で実施しているプロジェクトであるということもきちんと明記されていました。

パネリストの一人として、人身取引対策部のスワリー専門官が人身取引対策を進めていく上で MDT アプローチを用いることの重要性を説明されました。MDT アプローチはタイ政府が人身取引対策として有効であると考え導入したもので、国内 MOU(協定書)の中にも明記されており、中央のみでなく県レベルでも取り組みが行なわれています。スワリー専門官は、人身取引は社会開発人間安全保障省のみで対処できる問題ではないため、官民を含む様々な機関の協力と連携が必要であること、またそのためにどのように MDT を強化しているかを説明され、その中で JICA と共同で MDT 実施マニュアルを作成したことにも言及されました。また、通常 MDT は人身取引被害者保護のケースに対応する時以外顔を合わせる機会がないが、プロジェクトのお蔭でワークショップ

3月11日の東北地方太平洋沖地震で被害に合われた方々のために社会開発福祉局 (DSDW) の職員の方々より 100,100 バーツ(約 28 万円)の義捐金を頂きました。JICA タイ事務所を通じて日本赤十字社に送られます。社会開発福祉局の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

DSDW 局長(左)、織田 CA(中央)、竹林 CA- 高齢化対策プロジェクト(右)

